

コードチェンジ

結城洋志

株式会社クリアコード

実践リーダブルコード

2022-11-02

目的

- ✓ 他の人の基準で書かれたリーダブルコードを探す

おさらい：今日の体験内容

- ✓ **まず自分が読み始める**
- ✓ **他の人が書いたコードから**
リーダブルコードの工夫を探す
(「読みにくいコード」は探さない)
- ✓ **リーダブルの基準を**
他人と共有する
(チームのリーダブルコードができる)

これからやること

- ✓ 他人のリポジトリをforkする
- ✓ forkしたリポジトリの開発を引き継ぐ
 - ✓ リーダブルなコードを探す

ポイント

リーダブルじゃないコードより
リーダブルなコード

リーダブルじゃないコード

- ✓ 見つけやすい
 - ✓ 異質
 - ✓ 読んでいると詰まる
- ✓ 今日のチャレンジ
 - ✓ 気をとられない

リーダーブルじゃない例

```
void open_TermList(TermList *list, char *path) {
    FILE *fp;
    /* ファイルを開く */
    if ((fp = fopen(path, "r")) == NULL){
        fprintf (stderr, "ファイルが開けません\n");
        fclose(fp);
        exit(EXIT_FAILURE);
    }
}
```

リーダブルなコード

- ✓ 見つけにくい
 - ✓ まわりのコードになじんでいるから
 - ✓ すーっと理解できてひっかからない
- ✓ 今日のチャレンジ
 - ✓ 意識して見つけよう！

リーダブルな例

```
void open_TermList(TermList *list, char *path) {
    FILE *fp;
    /* ファイルを開く */
    if ((fp = fopen(path, "r")) == NULL) {
        fprintf(stderr, "ファイルが開けません\n");
        fclose(fp);
        exit(EXIT_FAILURE);
    }
}
```

やること

- ✓ 同じ言語の他の人のリポジトリをfork
- ✓ どこまで進んでいるかを把握
 - ✓ リーダブルコードを探す
- ✓ 開発を継続（改良）
 - ✓ リーダブルコードを探す

リーダブルコードを発見！

- ✓ メモに残す
 - ✓ 自分達の元の作業リポジトリのissueに書く
- ✓ メモの内容
 - ✓ 実際のコードのURL/コード片
 - ✓ リーダブルと思った理由
 - ✓ 見つけたきっかけ

メモの書き方は先ほどと同じ。

メモ例

タイトル：統一されたスタイル ← リーダブルな書き方の名前

↓本文↓

URL: <https://github.com/kou/.../commit/eb02be>

コード:

```
void open_TermList(TermList *list, char *path) {
    FILE *fp;
    /* ファイルを開く */
    if ((fp = fopen(path, "r")) == NULL) {
        fprintf(stderr, "ファイルが開けません\n");
        fclose(fp);
        exit(EXIT_FAILURE);
    }
    ...
}
```

理由:

ファイル内で「)」と「{」の間にスペースを空ける、というスタイルに統一しているので読みやすくなっている。

リーダーブルコードとは

- ✓ 読む人基準
 - ✓ 「読む人」が リーダブル読みやすいなら

どんなコードがリーダーダブルと 言えるか？

- ✓ 読む人 (=自分) 基準でよい
 - ✓ 自分はどんなコードがリーダーダブルだと思うのか言語化してみよう
 - ✓ 凝った書き方を見つけるのは目的ではない！

見つけ方のポイント

引き継いだ後
スムーズに続きの作業に
取りかかれた

→気付きのチャンス

ここまでの説明

腑に落ちましたか？

開始

14:45まで